

校歌・校章・校舎

校歌

作詩 職員一同 作曲 宮脇謙一

- 一、流れゆく雲間の | かなた 雄然と白根そびゆる
 白かばのかがやくおかに 学舎はそそりてたり
 いざや友胸ひらき共に語らん
 手をとりにて共に学ばん ああ草津 若人われら
- 二、古きより湧きてつきせぬ 大いなる泉のさとに
 生うけしその身ほこりて とこしえの道ぞきわめん
 いざや友声高く共に歌わん
 手をとりにて共に歩まん ああ草津 輝くわれら
- 三、山はれて泉すみゆく 悠久のまことをくみて
 ふるさとの久遠の花と 香も高く咲く日のぞまん
 いざや友肩くみて共に進まん
 手をとりにて共につとめん ああ草津 われらが母校

詳細はわかりませんが、昭和28年夏に校舎が全焼し、昭和29年に新校舎が建設されました。同年11月12日に新校舎落成式が挙行され、その時に校歌も発表されたようです。校歌作成に当たっては、当時の本校職員の山口リウ子先生を中心に作詞をされ、やはり当時の本校職員の宮脇謙一先生により作曲されたようです。

校章



まわりは雪の結晶を、中は草と中をイメージし、構成し、昭和22年9月1日に制定されました。

校舎 (教室名は令和6年度のもので)

